

東日本大震災後の市の取組み

1. 災害情報の収集伝達・通信手段

◆防災行政無線

- 蓄電池の増強(1日→4日の停電対応)
- 老朽化に伴う更新 (57局)
- 放送塔子局の増設 (3局)



防災行政無線

東日本大震災後の市の取組み

◆MCA無線機

- 70台購入(計140台)
- 県外自治体のネットワーク化

◆その他情報伝達・連絡手段

- 緊急速報エリアメール
緊急速報メールの導入
- 衛星携帯電話の配備



東日本大震災後の市の取組み

2. 備蓄物資・避難所開設

◆備蓄

- 全避難所へ防災倉庫の設置
- 非常食等の備蓄品の増強



これまでの市の取組

◆避難所

- 津波浸水区域の避難所の除外
- 那珂湊高校を避難所に追加
- 避難所要員の明確化
- 避難所の鍵の集約管理
- 被災した学校施設の改修
- 学校施設の耐震化計画の見直し



県立那珂湊高校

これまでの市の取組

3. 給水対応

◆給水対策の強化

- 給水タンク5基, 車両搭載用タンク20基
- 給水車1台購入予定

◆防災用井戸の整備

- 勝田地区小学校14校に整備予定

これまでの市の取組

4. 防災知識の普及啓発

◆総合防災マップの作成

(平成24年度内 完成予定)

◆表示板・看板

- 海拔表示, 津波避難誘導板(100箇所)
- 津波注意喚起看板の設置
(予定)



これまでの市の取組

5. 支援体制

◆災害時要援護者の見直し

- 震災後800人増加（計約3,300人）

◆災害応援協定の締結

- 石油業協同組合ひたちなか支部
- 大手飲料メーカー
- JR水戸支社